

魅力と活力ある県立高校づくり検討委員会における検討事項

【検討事項 1】生徒数の一層の減少に対応した高校のあり方

高校の適正な配置について 第 3 回、第 4 回検討委員会

- ・ 中学校卒業生数の減少に伴う地域ごとの課題への対応の検討（資料 1 参照）
地理的条件や教育機会の均等を勘案した高校の配置（特に中山間地域、離島）

高校の適正規模について 第 5 回検討委員会

- ・ 適正規模の検討（現行：1 学年 4 ～ 8 学級、資料 2 参照）
多様なニーズに対応した教育内容の充実、集団の中で切磋琢磨できる規模の確保

高校の統廃合基準について 第 5 回検討委員会

- ・ 統廃合基準の検討（現行：1 学年 2 学級以下の高校及び分校に関する統廃合基準）
学校規模の適正化を通じた魅力と活力ある学校づくりのための方策、基準

【検討事項 2】生徒の興味・関心、能力・適性、進路の多様化などに対応した高校のあり方

学校の選択幅の拡大（学校の特色化）について 第 8 回検討委員会

新しいタイプの高校について 第 8 回検討委員会

- ・ 総合学科、単位制、中高一貫教育等

【検討事項 3】社会の変化に対応した高校・学科のあり方

社会ニーズの変化、技術の進展等に対応した高校・学科について 第 6、7 回検討委員会

- ・ 高校・学科のあり方

【検討事項 4】生涯学習社会に対応した高校のあり方

地域の生涯学習センター的機能の強化について 第 8 回検討委員会

地域と高校が連携した教育について 第 8 回検討委員会

- ・ 高校に求められる生涯学習機能
- ・ 地域と連携した学習内容

【検討事項 5】特別支援教育への対応について 第 8 回検討委員会

- ・ 高等学校における障害（LD、ADHD、高機能自閉症等）のある生徒への対応